



平成 22 年 12 月期 第 1 四半期決算短信

上場会社名 六甲バター株式会社
 コード番号 2266 URL <http://www.qbb.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大川 良
 四半期報告書提出予定日 平成 22 年 5 月 13 日
 配当支払開始予定日 —

平成 22 年 5 月 7 日
 上場取引所 大

TEL(078) 231-4681

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 12 月期第 1 四半期の連結業績(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 12 月期第 1 四半期	8,646	1.2	911	15.1	909	10.9	526	22.7
21 年 12 月期第 1 四半期	8,543	—	791	—	820	—	428	—

	1 株 当 たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株 当 たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 12 月期第 1 四半期	26.13	—
21 年 12 月期第 1 四半期	21.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 12 月期第 1 四半期	22,638	11,178	49.4	555.22
21 年 12 月期	24,057	10,814	45.0	537.12

(参考)自己資本 22 年 12 月期第 1 四半期 11,178 百万円 21 年 12 月期 10,814 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 12 月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22 年 12 月期	—	—	—	—	—
22 年 12 月期(予想)	—	0.00	—	7.50	7.50

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 22 年 12 月期の連結業績予想(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期連結累計期間	17,400	△0.4	1,580	△13.3	1,600	△13.1	910	△15.0	45.18
通 期	35,800	△0.2	2,660	△35.2	2,650	△34.5	1,550	△32.4	76.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他を御覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	21,452,125株	21年12月期	21,452,125株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	1,319,011株	21年12月期	1,317,152株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	20,133,881株	21年12月期第1四半期	20,147,100株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関しましては、3ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とする海外経済の回復や政府の経済対策の効果により、一部に景気回復の兆しが見られたものの、全般的には引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループの主力分野であるチーズ業界におきましては、原料面では再び輸入原料チーズ価格が高騰いたしました。一方、需要面では昨夏以降家庭用チーズが伸張しております。

このような状況のなか当社グループといたしましては、食の安全・安心の確保を最重点としながら、販売の促進に注力するとともに新製品の開発、コストの低減に努めました。今春の新製品としては、チーズ部門ではヘルシーシリーズとして「チーズDEヘルシースライスチーズ7枚入」、「チーズDEヘルシー塩分1/3カットとろけるチーズ」を発売するとともに「大きいホットチリペッパーとろけるスライス7枚入」、「ディズニーポケットチーズ4個入」等を発売いたしました。ナッツ部門では栄養機能食品として「ナチュラルセレクション食塩無添加アーモンド」、「ナチュラルセレクション食塩無添加カシューナッツ」、「ナチュラルセレクション食塩無添加黒大豆」を発売いたしました。これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は86億4千6百万円（対前年同四半期比1.2%増）、営業利益は9億1千1百万円（前年同四半期営業利益7億9千1百万円）、経常利益は9億9百万円（前年同四半期経常利益8億2千万円）、四半期純利益は5億2千6百万円（前年同四半期純利益4億2千8百万円）となりました。売上高の内訳はチーズ部門が80億5千1百万円（対前年同四半期比103.0%）、ナッツ部門が2億3千2百万円（対前年同四半期比84.2%）、チョコレート部門が3億2千9百万円（対前年同四半期比79.6%）、その他部門が3千2百万円（対前年同四半期比98.8%）となっております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が1億7千6百万円、流動資産の繰延税金資産が1億6千7百万円増加しましたが受取手形及び売掛金が13億2千万円、短期貸付金が4億9千8百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し14億1千8百万円減少し、226億3千8百万円となりました。また、負債は、未払法人税等が10億8千3百万円、流動負債のその他が5億7千9百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し17億8千1百万円減少し、114億6千万円となりました。

純資産は、当第1四半期純利益の計上により5億2千6百万円増加しましたが配当金の支払により2億1百万円減少したこと等により前連結会計年度末と比較し3億6千3百万円増加し、111億7千8百万円となりました。

（2）キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは1億8千2百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前四半期純利益の増加と売上債権の減少による収入であります。（前年同四半期は13億2千4百万円の収入）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは5億2千9百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の預入による支出と有形固定資産の取得による支出であります。（前年同四半期は5億1千4百万円の支出）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは2億3千6百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払による支出と短期借入金の返済による支出であります。（前年同四半期は1億5千8百万円の支出）

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて5億8千3百万円減少し19億7百万円（前連結会計年度末は24億9千万円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに進捗しているため、平成22年2月12日発表のままとし、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出につきましては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「支払手数料」は、営業外費用の総額の100分の20を超えたため区分掲記しております。

なお、前第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は1,700千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,214,282	3,038,250
受取手形及び売掛金	7,417,090	8,737,912
商品及び製品	1,030,847	1,067,555
仕掛品	59,869	73,102
原材料	1,041,477	925,347
短期貸付金	1,505,240	2,004,227
繰延税金資産	721,571	554,123
その他	302,244	178,545
貸倒引当金	△155	△154
流動資産合計	15,292,468	16,578,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,831,499	4,834,778
減価償却累計額	△3,281,830	△3,259,394
建物及び構築物（純額）	1,549,668	1,575,383
機械装置及び運搬具	8,447,040	8,570,062
減価償却累計額	△6,373,378	△6,442,448
機械装置及び運搬具（純額）	2,073,661	2,127,614
土地	1,121,756	1,121,756
建設仮勘定	58,761	128,552
その他	515,443	485,124
減価償却累計額	△384,943	△384,748
その他（純額）	130,500	100,375
有形固定資産合計	4,934,348	5,053,682
無形固定資産		
ソフトウェア	9,500	—
ソフトウェア仮勘定	107,910	108,024
その他	12,072	12,078
無形固定資産合計	129,482	120,102
投資その他の資産		
投資有価証券	789,495	777,045
長期貸付金	8,218	6,823
繰延税金資産	267,827	271,879
その他	1,228,213	1,258,067
貸倒引当金	△11,396	△9,476
投資その他の資産合計	2,282,359	2,304,341
固定資産合計	7,346,190	7,478,126
資産合計	22,638,658	24,057,034

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,669,565	3,729,490
短期借入金	1,500,000	1,590,000
未払法人税等	578,699	1,662,264
未払費用	2,690,549	2,604,033
株主優待引当金	—	8,270
役員賞与引当金	—	50,000
その他	577,579	1,156,857
流動負債合計	9,016,394	10,800,916
固定負債		
退職給付引当金	2,014,531	2,011,731
長期未払金	429,266	429,266
その他	200	200
固定負債合計	2,443,997	2,441,198
負債合計	11,460,391	13,242,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金	2,409,014	2,409,014
利益剰余金	5,989,329	5,664,533
自己株式	△419,399	△418,590
株主資本合計	10,822,148	10,498,161
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	253,281	243,760
繰延ヘッジ損益	102,835	72,998
評価・換算差額等合計	356,117	316,758
純資産合計	11,178,266	10,814,919
負債純資産合計	22,638,658	24,057,034

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	8,543,870	8,646,292
売上原価	5,089,358	4,620,560
売上総利益	3,454,512	4,025,732
販売費及び一般管理費	2,662,762	3,114,391
営業利益	791,749	911,341
営業外収益		
受取利息	3,258	1,578
受取配当金	195	145
為替差益	41,048	8,220
その他	3,704	3,369
営業外収益合計	48,207	13,314
営業外費用		
支払利息	13,343	4,953
支払手数料	—	5,250
その他	6,592	5,017
営業外費用合計	19,936	15,221
経常利益	820,020	909,434
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,000	—
特別利益合計	8,000	—
特別損失		
投資有価証券評価損	47,871	—
固定資産廃棄損	3,695	12,191
特別損失合計	51,567	12,191
税金等調整前四半期純利益	776,453	897,242
法人税、住民税及び事業税	615,058	557,058
法人税等調整額	△267,405	△185,962
法人税等合計	347,653	371,096
四半期純利益	428,799	526,146

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	776,453	897,242
減価償却費	178,621	190,752
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	19,655	2,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7,992	1,920
受取利息及び受取配当金	△3,454	△1,724
支払利息	13,343	4,953
為替差損益 (△は益)	△41,048	△8,220
有形固定資産廃棄損	3,695	12,191
投資有価証券評価損益 (△は益)	47,871	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,346,441	1,320,821
たな卸資産の増減額 (△は増加)	228,032	△66,189
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	11,419	△73,577
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	60,424	29,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	△963,494	△59,924
未払費用の増減額 (△は減少)	27,897	86,466
その他	△128,942	△538,246
小計	1,568,924	1,799,126
利息及び配当金の受取額	3,454	1,724
利息の支払額	△13,749	△4,794
法人税等の支払額	△233,649	△1,613,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,324,979	182,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△246,266	△815,224
定期預金の払戻による収入	—	56,022
有価証券の売却による収入	10,000	—
有形固定資産の取得による支出	△278,228	△213,413
無形固定資産の取得による支出	—	△53,274
投資有価証券の取得による支出	△786	△756
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,037	497,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△514,243	△529,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△90,000
長期借入金の返済による支出	△53,000	—
配当金の支払額	△104,514	△145,593
その他	△1,058	△808
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,573	△236,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,366	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	653,529	△583,170
現金及び現金同等物の期首残高	2,010,469	2,490,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,663,999	1,907,194

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、事業の種類として「食料品の製造販売業」のみの単一事業を営んでいるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年3月31日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年3月31日）において、海外売上高はありませんので、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。